

関係者各位

西置賜農業技術普及課

高温・少雨に対応した農作物の技術対策について

県内では、降水量の少ない状態が続いており、5月1日から21日までの降水量は、平年と比較して、山形と米沢で半分以下、新庄と酒田では7割程度にとどまっています（アメダス）。

さらに、5月18日に仙台管区气象台から発表された「1か月予報」によると、県内の向こう1か月の気温は高い見込みとなっています。

つきましては、下記により、高温・少雨に対応した農作物の栽培管理の徹底を図るよう指導方よろしく申し上げます。

記

1 共 通

- (1) 高温時の農作業は、熱中症の危険性があるため、朝夕の涼しい時間帯に行い、こまめな水分補給など健康管理を十分に行ったうえで実施する。
- (2) ハウス栽培・トンネル栽培の果樹・野菜・花きでは、換気や遮光を徹底するとともに、過乾燥を防ぐために、灌水を行う。

2 稲 作

- (1) 雑草の生育が早くなっているため、除草剤の散布が遅れないようにする。
- (2) 土壌還元（ワキ）が強く、生育停滞が見える場合は、水交換や田干しにより還元状態の改善に努める。

3 果 樹

(1) おうとう

「佐藤錦」は5月下旬（満開後30日）までは果実肥大が旺盛な時期なので、積極的に灌水を行う。6月以降（着色期～収穫期）の灌水は、少量多回数の灌水を行う。高温・乾燥が続く、朝から葉の下垂が続くような場合は、樹冠下に少量（1,000～2,000 /10a）の灌水を行う。

「紅秀峰」は6月上旬頃まで肥大が旺盛な時期が続くため、土壌の乾燥程度に応じて灌水を実施する。

(2) 施設栽培おうとう

高温障害の防止を図るため、最大限の換気に加え、遮光資材の使用や地表面や樹上への散水を行う。

短期（無）加温栽培では収穫期を迎えているので、もぎ遅れないように日当たりの良い部分から収穫するとともに、厳選出荷を徹底する。

(3) りんご、西洋なし、もも等

結実が確定し、果実肥大期の重要な時期にあたるので、灌水を積極的に行う。定置配管やスプリンクラーにより全面散水ができる園地では、10a当たり20,000～30,000を目安に灌水する。水源が乏しい園地では、ローリータンクやスピードプレーヤーを利用し、樹冠下（外周部）を重点に、できるだけ多く灌水を行う。

灌水後も7～10日降雨がない（少ない）場合は、再度灌水を行う。

(4) 施設栽培ぶどう

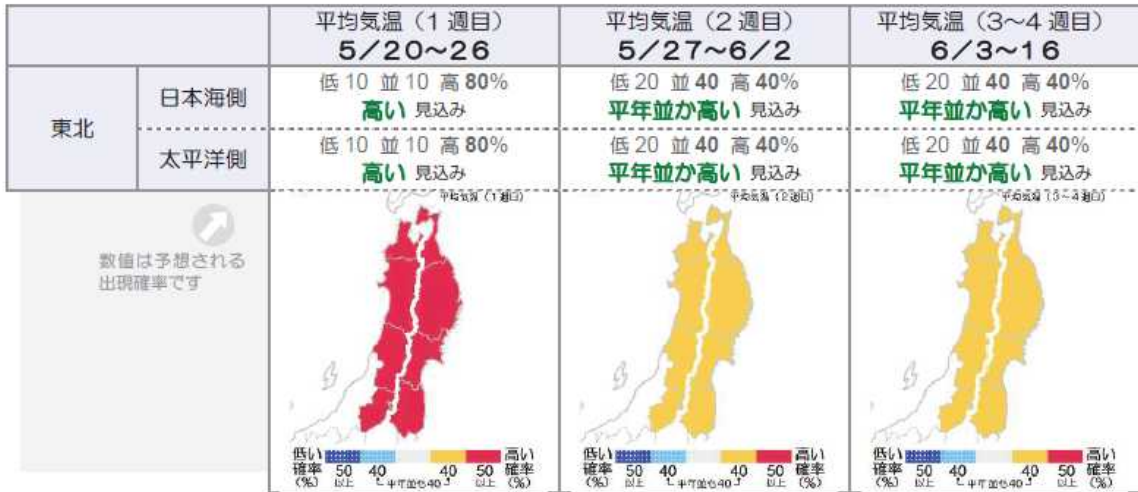
土壌の乾燥程度を確認しながら、作型や生育ステージに応じて灌水を行う。

4 野菜・花き

- (1) 施設栽培品目、すいかのトンネル果菜類等は、高温障害、過乾燥による生育停滞を防ぐため、換気を徹底するとともに、灌水を行う。
- (2) 定植間もない施設品目では、高温により萎れやすいことから、萎れ程度により遮熱寒冷紗等で遮光を行う。
- (3) 定植後間もない露地品目では、乾燥による生育遅延が生じやすいため、適宜灌水を行う。

【参考】

週別の平均気温



〔1か月予報(5月18日仙台管区気象発表表)〕

5月22日11時 山形県の週間天気予報

日付	23火	24水	25木	26金	27土	28日	29月	
山形県	曇時々晴	曇	曇時々晴	曇時々晴	晴時々曇	曇時々晴	曇時々晴	
降水確率(%)	0/0/0/30	40	40	40	20	20	30	
信頼度	/	/	B	B	A	B	C	
山形	最高(°C)	29	25 (23~28)	25 (22~28)	25 (21~28)	25 (22~28)	26 (22~28)	26 (22~29)
	最低(°C)	14	15 (14~16)	15 (13~16)	14 (12~15)	13 (10~15)	13 (10~16)	13 (11~16)

〔週間天気予報(気象庁HPより)〕

4月以降の平均気温・降水量・日照時間

	4月			5月1日~21日		
	平均気温	降水量	日照時間	平均気温	降水量	日照時間
山形	10.5	44.5 mm	172.8 h	16.2	24.5 mm	163.3 h
平年比差	0.4	65 %	98 %	1.3	47 %	127 %
新庄	8.9	97.5 mm	153.1 h	14.4	53.0 mm	157.4 h
平年比差	0.4	101 %	98 %	0.8	70 %	136 %
米沢	9.1	58.5 mm	193.8 h	15.4	25.0 mm	169.2 h
平年比差	-0.2	86 %	110 %	0.9	47 %	132 %
酒田	10.5	100.0 mm	166.8 h	15.0	57.0 mm	166.2 h
平年比差	0.3	98 %	97 %	0.5	66 %	131 %

〔(気象庁データより算出)〕